

# 育成世代の活動から見るサッカー日本代表の 戦術の変化

氏名 徳本 颯汰

## 要旨本文

本論文は、部活動とクラブユースの育成から今後のサッカー日本代表を背負う選手はどのような育成がいいのかを戦術の変化を交えて論じている。日本の高校年代のサッカー競技人口は約 17 万人とされており、そのうち 99%は部活動に所属している。「メンタルの部活動」と「技術のクラブユース」と言われることがよくあるが実際どのような選手の差があるのかを研究する。また 1998 年から 2018 年のワールドカップの日本代表選手のデータから部活動出身者とユース出身者の選手の割合を確認する。その結果から、なぜ戦術が変わっていたのか、今後はどのような日本代表になるのかを考察していく。